

和歌山大学防災シンポジウム

能登半島地震から  
南紀熊野で発生する

# 南海トラフ 地震を考える

ージオパークガイドとして  
地域の悲しみを伝えることが  
できるかー

令和7年3月20日(木:祝日)

13:30~16:30 (受付13:00)

南紀熊野ジオパークセンター

和歌山県東牟婁郡串本町潮岬2838-3

(潮岬観光タワー西隣)

参加申込はこちらから

×切 3月17日(月)

定員 先着60名程度

<https://forms.office.com/r/Ers8DU07ec>

参加  
無料



主催：和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター  
協力：南紀熊野ジオパーク推進協議会,和歌山地方気象台



(写真左:和歌山県提供)



# 南海トラフ地震に備え、 地域の悲しみと教訓を未来へつなぐ

## 【趣旨】

和歌山大学は南紀熊野ジオパークを支援し、研究・教育活動を行ってきました。2025年2月18日には和歌山県および南紀熊野ジオパーク推進協議会と連携協定を締結し、その記念として本シンポジウムを開催します。

近い将来発生が予測される南海トラフ地震に備え、2024年の能登半島地震から学ぶべき教訓を考察します。特に、「ダークツーリズム」の視点から、災害遺構や被災者の悲しみをどのように伝えられるのかを探ります。

## 【プログラム】

- 13:00 - 13:30 受付  
13:30 - 13:35 開会・挨拶  
13:35 - 14:05 講演①『能登半島地震から南海トラフ地震を考える』  
此松昌彦 (和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター 兼務教授)  
14:05 - 14:35 講演②『「能登半島地震の被災支援」から得た知見による南海トラフ地震への備え』  
野口和典 (和歌山県危機管理部災害対策課 課長補佐)  
14:35 - 15:25 講演③『能登半島地震におけるダークツーリズムの可能性』  
井出明 (金沢大学 国際基幹教育院 教授)  
15:25 - 15:35 休憩  
15:35 - 16:25 パネルディスカッション『災害遺構などのジオサイトを人々に伝えるには』  
パネリスト：井出明 (金沢大学 教授)・野口和典 (和歌山県危機管理部 課長補佐)  
仲江孝丸 (南紀熊野ジオパークガイドの会 会長)  
コーディネーター：此松昌彦 (和歌山大学 教授)  
16:25 - 16:30 閉会

【同時開催】 研究成果のパネル展示・デモ展示

**参加  
無料**

参加申込はこちらから

×切 3月17日(月)・定員 先着60名程度

<https://forms.office.com/r/Ers8DU07ec>



皆さまのご参加をお待ちしております！

お問い合わせ先

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター  
mail: saigai@ml.wakayama-u.ac.jp

防災シンポジウム担当 木下  
Tel: 073-457-7558